

科目コード	E2145	科目名	初等国語科教育法				
履修区分	必修	開講期	2年後期	授業回数	15回	単位数	2単位
担当者	明比宏樹						
授業の概要	小学校国語科の授業づくりに必要となる理論と実践の基礎を学ぶ。学習指導要領に基づく目標・内容・評価の理解を踏まえ、教材研究、学習指導案の作成、授業展開の構想、発問や支援の在り方、学習評価の方法について検討する。模擬授業や授業省察を通して、児童の実態に応じた国語科授業を構想・実践するための力量の形成を目指す。						
DPとの関連	平和を希求し、その教育に努め、幸せな人生を創造しようとする力を身につける						
	人間愛のもと、ケアすることの意義を教育・保育の専門性において学び、専門的な知識・技術との統合を図る力を身につける						
	修得した専門的な知識・技術を活用し、教育者・保育者として実践する力を身につける						
	教育・保育者として、子どもの育ちや学びに関わる問題について時代の変化を見通して研究し、新たな価値の創造を図る力を身につける						
	社会との連携を図り、人々の教育的・保育的ニーズや社会的ニーズに応えることができる力						
DP：ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与の方針）＝卒業までに身に付けるべき資質・能力							
到達目標	○小学校国語科の授業づくりに必要な目標・内容・評価の基本的な考え方を理解し、説明することができる。 ○教材研究に基づいて学習指導案を作成し、授業の展開を構想することができる。 ○発問・支援・学習評価の在り方を踏まえ、児童の実態に応じた授業改善の視点をもつことができる。 ○模擬授業や授業省察を通して、自らの授業構想を見直し、実践的指導力の基礎を身に付けることができる。						
履修上の注意事項	・必要に応じて、準備物を指示する場合があります。 ・毎回配布する資料プリントは、各自でファイリングし、適切に管理してください。 ・私語および不要不急の携帯電話の使用は、禁止とします。 ・授業の最後に振り返りの記入や課題の提出を求める場合があります。これらは出席確認を兼ねるとともに、成績評価の対象となります。						
授業計画	回数	講義内容【担当教員】				事前・事後学修	
	1	国語科の授業構造と指導技術				授業前には、関連する資料や文献に目を通して要点や疑問点を整理し、授業後には、配布資料の振り返りや課題等を通して学びの整理・定着を図ること。	
	2	国語科の教材研究と単元設計				授業前には、関連する資料や文献に目を通して要点や疑問点を整理し、授業後には、配布資料の振り返りや課題等を通して学びの整理・定着を図ること。	
	3	国語科の授業デザインと評価方法				授業前には、関連する資料や文献に目を通して要点や疑問点を整理し、授業後には、配布資料の振り返りや課題等を通して学びの整理・定着を図ること。	
	4	「話すこと・聞くこと」の領域における学習過程と指導法				授業前には、関連する資料や文献に目を通して要点や疑問点を整理し、授業後には、配布資料の振り返りや課題等を通して学びの整理・定着を図ること。	
	5	「書くこと」の領域における学習過程と指導法				授業前には、関連する資料や文献に目を通して要点や疑問点を整理し、授業後には、配布資料の振り返りや課題等を通して学びの整理・定着を図ること。	
	6	「読むこと」の領域における学習過程と指導法				授業前には、関連する資料や文献に目を通して要点や疑問点を整理し、授業後には、配布資料の振り返りや課題等を通して学びの整理・定着を図ること。	
	7	「音読・朗読」と「新出漢字・新出語句」の指導法				授業前には、関連する資料や文献に目を通して要点や疑問点を整理し、授業後には、配布資料の振り返りや課題等を通して学びの整理・定着を図ること。	
	8	国語科授業における学校図書館の活用（読書指導と学び方指導）				授業前には、関連する資料や文献に目を通して要点や疑問点を整理し、授業後には、配布資料の振り返りや課題等を通して学びの整理・定着を図ること。	
	9	国語科学習指導案の構成と作成方法				授業前には、関連する資料や文献に目を通して要点や疑問点を整理し、授業後には、配布資料の振り返りや課題等を通して学びの整理・定着を図ること。	
	10	国語科学習指導案の作成と検討				授業前には、関連する資料や文献に目を通して要点や疑問点を整理し、授業後には、配布資料の振り返りや課題等を通して学びの整理・定着を図ること。	
	11	模擬授業の実施と省察(1)				授業前には、関連する資料や文献に目を通して要点や疑問点を整理し、授業後には、配布資料の振り返りや課題等を通して学びの整理・定着を図ること。	
	12	模擬授業の実施と省察(2)				授業前には、関連する資料や文献に目を通して要点や疑問点を整理し、授業後には、配布資料の振り返りや課題等を通して学びの整理・定着を図ること。	
	13	模擬授業の実施と省察(3)				授業前には、関連する資料や文献に目を通して要点や疑問点を整理し、授業後には、配布資料の振り返りや課題等を通して学びの整理・定着を図ること。	
	14	模擬授業の実施と省察(4)				授業前には、関連する資料や文献に目を通して要点や疑問点を整理し、授業後には、配布資料の振り返りや課題等を通して学びの整理・定着を図ること。	
15	国語科における授業改善と教師の力量形成				授業前には、関連する資料や文献に目を通して要点や疑問点を整理し、授業後には、配布資料の振り返りや課題等を通して学びの整理・定着を図ること。		
成績評価方法	期末試験（40％）、学習指導案（20％）、模擬授業（30％）、授業への取組状況（10％）に基づき、総合的に評価する。 ただし、受験資格を満たしていない場合は評価の対象としない。						
教科書	書名・著者（出版社）					ISBNコード	
	辻村敬三（2019）「国語科内容論×国語科指導法」東洋館出版社						
参考書	文部科学省（2017）「小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 国語編」東洋館出版社						
	田近洵一・中村和弘・大熊徹・塚田泰彦（2018）「小学校国語科授業研究（第五版）」教育出版						
教員からのメッセージ	全国大学国語教育学会（2019）「新たな時代の学びを創る小学校国語科教育研究」東洋館出版社						
	教材研究、学習指導案の作成、模擬授業、授業省察等の演習的活動を含むため、毎回の準備と振り返りおよび授業への積極的な参加を求めます。グループ活動や発表を行う場合があるため、他者と協働しながら学ぶ姿勢を大切にしてください。						
教員との連絡方法	金曜日（研究日）以外は、直接研究室に来ていただいてもかまいません。 （事前にアポイントメントを取っていただくと、スムーズに対応できます。） 急ぎの用件については、メールでも対応します。						
実務経験のある教員	小学校現場での実務経験を踏まえ、学校教育の実際と関連づけながら授業を進めます。理論的な理解にとどまらず、子どもの実態や授業場面を具体的に思い描きながら考えることを重視してください。教職を目指す者として、教育実践に主体的に向き合ってください。						